

## オマーンへのビジネスミッション派遣（2024年12月）

2025-01-28

一般財団法人 中東協力センター

オマーンは、ペルシャ湾、紅海、アフリカへのアクセスを有する海洋国家です。海外からの直接投資促進を国家戦略のひとつに掲げ、経済特区の大規模開発を推進しています。また、2021年に始まった「オマーン・ビジョン2040」では、非化石燃料分野の成長を重点課題として、産業の多角化、脱炭素化、水素開発の強化を目指しています。特に、ドゥクムを始めとする経済特区やフリーゾーンでは、豊富な再生可能エネルギー資源を活用したグリーン水素事業に係る外資誘致に積極的です。

こうした気候テックに関連したビジネスチャンス拡大を背景に、当センターは、経済産業省、在オマーン日本国大使館および駐日オマーン国大使館の支援、ならびにオマーン商工会議所（OCCI）の協力を得て、2024年12月15日から19日にかけて、日本企業8社（10名）からなるビジネスミッションをオマーンに派遣しました。



カイス商工・投資促進大臣との意見交換



ファイサル商工会議所会頭と面談

### OCCI ビジネスセミナーおよび企業間マッチング

12月15日、オマーン商工会議所にて「日・オマーン ビジネスセミナー」を開催しました。本セミナーには100名以上の参加者を集め、ミッション参加企業とオマーン民間企業とのビジネスマッチングを促進しました。この模様は現地のメディアでも広く報じられ、当センターへの取材記事も新聞に掲載されるなど、オマーンにおける日本企業への関心の高さが示されました。



ビジネスセミナーの様子



個別のビジネス面談

## 意見交換と現場視察

16 日、首都マスカット近郊のルサイル工業団地を訪問し、管理運営機関 Madayn 社、Oman Cables 社（電気ケーブル製造）、Oman Fiber Optic 社（光ファイバーケーブル製造）と意見交換および施設の視察を行いました。その後、マスカットの海水淡水化施設 Al Ghubrah II IWP を訪問し、Muscat City Desalination Company から施設運用の説明を受け、視察を行いました。

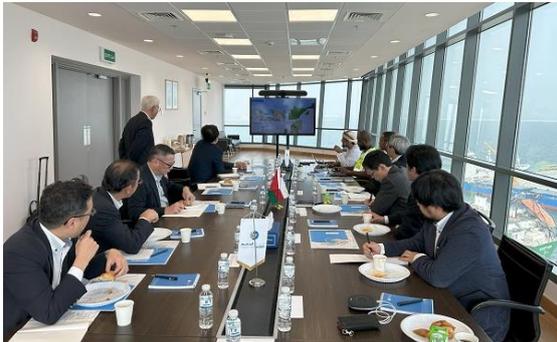


ルサイル工業団地を訪問



Al Ghubrah 海水淡水化施設を訪問

17 日、オマーン政府が開発を進めるドゥクム経済特区を訪問。Port of Duqm や Duqm Drydock から説明を受けたほか、経済特区内で水素関連事業を展開する ACME グループおよび Vulcan Green Steel 社と意見交換を行い、現場を視察しました。



Port of Duqm を訪問



ドゥクム経済特区での意見交換

18 日にはマスカットに戻り、オマーン政府の投資促進機関「Invest Oman」を訪問。省庁横断的なワンストップサービスを各省庁から派遣された職員が連携を取りながら提供しているとの説明を受けるとともに、参加企業に対して、オマーンでの事業展開に関する具体的なアドバイスがなされました。



Invest Oman と面談



Invest Oman との記念撮影

## 高官との面談と表彰

最終日の 19 日、オマーンのエネルギー・鉱物資源省をはじめとする政府関連機関とラウンドテーブル形式で個別面談を実施しました。その後、駐オマーン日本国山本大使、経済産業省中東アフリカ課渡邊課長とともに、カイス商工業・投資促進大臣を表敬訪問。これまでの支援への謝意を表明するとともに、参加各社の事業内容を紹介し、意見交換を行いました。さらに同夜に開催された「ルウヤ・ビジネス・アワード」に招待されました。この表彰式はオマーン・ビジョン 2040 に貢献した現地企業や団体を称えるものですが、当センターもこれまでの活動が評価され、特別賞を受賞しました。



政府関連機関とのラウンドテーブル



政府関連機関との個別面談



カイス商工業・投資促進大臣との記念撮影



ルウヤ・ビジネス・アワード特別賞

## 今後の展望

今回のミッションでは、オマーンの国を挙げた経済成長への熱心な取り組みを深く理解することができました。また、初日のビジネスマッチングを契機に、参加企業各社が現地企業と個別に面談を重ね、グリーン水素やアンモニア等の幅広い分野での協業の可能性を議論することとなりました。これを機会に日本企業のオマーンへの新たな投資進出が期待されます。

当センターは、今後も各企業の活動をフォローアップし、オマーンへの投資支援を積極的に推進してまいります。

###